



THE Y'S MEN'S CLUB OF

NARA

奈良ワイズメンズクラブ

CHARTERD SEP. 14th 1950

C/O NARA YMCA, 2 Saidaji Kunimicho, NARA JAPAN

Phone No. 0742-44-2207 URL: <http://uchidakaikai.com/narawaizu/index.htm>

1月号

国際会長主題：『Go Ye All The World (全ての世界に出て行こう)』 国際会長 Poul V. Thomsen

アジア会長主題：『Start Future Now (未来を始めよう、今すぐに)』 アジア会長 岡野 泰和

西日本区主題：『Attend club meeting with a clear motive to make the most of them

(志を持って例会に参加し、学びの機会をもちましよう。)] 西日本区理事 高瀬 稔彦

阪和部主題：『Youth & Action (若さと行動 今こそ行動するとき)』 阪和部長 飯沼 眞

クラブ会長標語：『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』 奈良クラブ会長 高橋 辰夫

1月例会(阪和部新年合同例会)

とき 2014年1月11日(土) 13:00~16:00

ところ たかつガーデン

プログラム

司会：内田 勝久・内田彩子

- 1. 開会点鐘 阪和部長 飯沼 眞
- 2. ワイズソング斉唱 全員
- 3. 開会の挨拶 阪和部長 飯沼 眞
- 4. 挨拶 西日本区理事 高瀬 稔彦  
奈良YMCA総主事 金子 司
- 5. 食前感謝 奈良クラブ会長 高橋 辰夫
- 6. 乾杯 奈良クラブ 林 秀彦
- 7. 会食
- 8. 出席クラブ紹介
- 9. アピールタイム
- 10. 講演「ウンが良くなる食生活!？」 藤田 邦高氏
- 11. 歌
- 12. ホストクラブからのお礼 実行委員長 胎中 廉
- 13. YMCAの歌斉唱
- 14. 閉会点鐘 阪和部次期部長 三木 才

[月間テーマ]

IBC・DBC

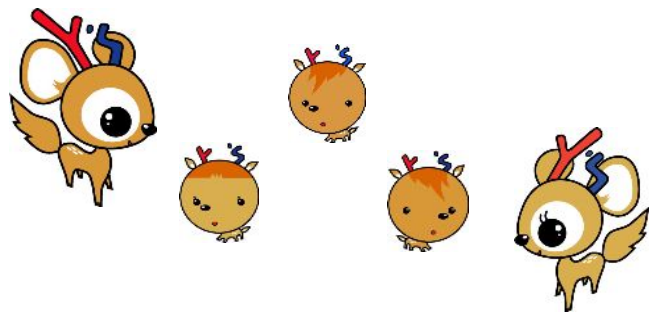
[今月の聖句]

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見  
死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」

イザヤ書9章1節

日本基督教団奈良教会牧師 栗原宏介

2014年、あけましておめでとうございます。今年はどのような一年となるでしょうか。良い一年となればと願っています。そして慈愛に満ちた平和な世界となるように祈っています。古の預言者は非常に困難な世にあって希望の言葉を人々に伝えました。大いなる光を見ると、光が輝くと力強く語り伝えました。今を生きている私たちにも勇気と力を与えてくれる言葉です。私たちは今なお「闇の中に歩む民」であるかもしれません。しかし、だからこそ光ははっきりと輝き、私たちはその光に感動・感謝して歩むことができるのだと思います。新たな年、大きな希望を抱いて感動と感謝を持って歩みを進めたいと願っています。



2013年12月クラブ統計

在籍会員 24名	出席率	算出分母 23名	出席数 16名
メン 15名	メーキャップ 1名	メネット 11名	功労会員 1名
ゲスト 1名	ビジター 9名	コメント 0名	/ 出席率 69.6%

ニコニコ献金 献金は全て奈良YMCAへ。2万円フィリピン支援へ拠出。  
12月度 0円・累計 957,663円

会長 高橋 辰夫

「どんな年にしたいのかな？」 胎中 晴美

新年も明け2014年午年になりました。ワイズメンズクラブもこれを機に天高く飛躍する午年になることを期待します。今期も半分が過ぎ、折り返し地点を通過しています。  
会長標語として掲げました『Go Back to Y'sdom (ワイズダム原点回帰)』を再度見つめ直してみたいと思います。

ワイズメンズクラブ第一号がアメリカで発足してからあと数年で100年が経過します。今から90余年前に職業の異なる青年実業家たちが集い、各々の仕事で培ったタラント(能力)を結集して世界の平和の実現の為に惜しみなく働く団体として結成されました。

そのころはキリスト教の隣人愛の精神が基本になっています。信仰はそれぞれの神様や仏様の指導によるものですから、クラブメンバーであるためにキリスト教の信仰が必須ではありません。しかしながら基本である隣人愛における見識は持つておく必要があります。隣り人を信じ、認め、理解するところから隣人愛は始まると思います。また、自分とは異なるタラントを持つ人との接触で新しいタラントを知り理解し吸収することが自己研鑽につながります。これがワイズ活動の醍醐味であると思います。醍醐味があるからこそ人が集まり、世界に3万人に手の届くほどの会員数を有する団体に成り得たのだと思います。

昨年、クラブメンバーの皆様にワイズメンズクラブの醍醐味についてコラム記事の寄稿をお願いしています。

まずはベテランメンバーの諸先輩から寄稿いただいています記事を拝読していると、各々ワイズメンズクラブに入ったきっかけや活動を継続しておられる理由はまちまちですが、共通して読み取れるのは、参加する事で得られる「たまもの」があることです。世代や異なるタラントを持つ老若男女が、全く同じ足並みで進むのは容易なことではありません。互いに隣り人を受け入れ、相互に補完することで困難を乗り越えることができ、その結果「大きなたまもの」を得ることができます。これが「ワイズダム」であると思います。

東西日本区において、会員数の減少が深刻な問題になっています。また、毎年平均年齢が1歳づつ大きくなっていく事も懸念されています。団体の存続の不安を唱えられて久しくなりますが、私は会の平均年齢が1歳づつ大きくなるということはベテランの会員の皆さんが在籍し続けて下さる事なので、ワイズメンズクラブに属することが人生において有意義であることを自ら証明していただいていることだと思っています。ただ、ワイズダムを实践が人生を豊かにすること伝達を怠っていた事が会員が増えない原因だと思っています。

ここから導かれる結論はただ一つ。新入会者を追い求めるのではなく、ワイズダムから得られる「たまもの」を一人でも多くの人に自信を持って伝えることです。これはクラブ会員全員で取り組む必要があります。会員が増えた数だけ、私たちも新しい「たまもの」を得られるのですから。。。

2013年がもうすぐ終わろうとしています。最近、1年1年がとっても早く感じています。子どもたちが歌っているカレンダーマーチ「♪カレン、カレン、カレンダーマーチ」

1年たったらまたおいで」本当にあっという間の1年間ですね。さてさて私はこの1年をどう過ごしたのでしょうか。「あれもしましよ！これも始めてみましよ！・・・」と思いながら、時間に追われればたとえと走っている姿が脳裏を駆け巡ります。365日の時間はすべての人に平等に与えられているはずなのに、「時間がない・・・」と言いつつ毎日を過ごしている私でした。先日、私の所属している法人の機関誌(ニュースレター)が100号(実質115号)になりました。毎月原稿を出しているのに、職員から言われて気づいた次第です。第1号から読み返してみると、そこには「あっ、こんなことあった！楽しかったね。しんどかったね。・・・」と走馬灯のように今までの出来事がしっかり映し出されてきました。懐かしい気持ちと、これを礎に頑張ろうという職員たちの声を聴いて、新たな気持ちで進んでいける自分があることに感謝しました。最近、手にした鎌田実著「に近い」を生きる」には「正解、正論に惑わされないで、別解を見つけて行きましょ。多様な価値観と自由な発想の大切さ...生き方をちょっと変えれば、人生はうんと変わる。×だけが選択ではない・・・」とあります。これを読んで何だかホッとしました。還暦を過ぎた今、ちょっと路地を歩いたり、遠回りしたり、寄り道したりしながら、振り子の幅を大きくした時間の流れを持ちたいと感じています。

2014年が皆様にとって素晴らしい年であることをお

## 12月例会報告

佐々木 みどり

日時 2013年12月8日(日) 17:00~17:30

場所 奈良YMCA(チャペル) 司会 中井メン

今回の例会はジョイフルクリスマスの為半時間に短縮して行いました。ビクター、ゲストは、和歌山クラブ:三木メン、サウスクラブ:松岡メン、吉田メン、松本ウイメン、吉田メネット、河内クラブ:正野メン、長野クラブ、濱田ウイメン、白井ウイメン、なかのしまクラブ:今井ウイメン、ゲスト:高井亮吉様ご夫妻、劉雪君様

ジョウフルクリスマス

日時 2013年12月8日(日) 18:00~

場所 YMCA体育館

第一部 聖夜 司会 三枝メン

金子総主事のご挨拶から始まりました。キャンドルの薄明かりの中聖歌、聖書朗読。高木牧師のお話が厳肅に執り行われました。

第二部 祝会

会長の食前感謝、林秀彦メンによる乾杯で始まりました。おすし、鶏のから揚げ、サンドイッチ、カレー、おでん、ケ-キ、メネット手作りのオ-ダブル、所狭しと並べられましたが、アツという間に皆の胃袋に収まってしまいました。そして今日のメインイベント「桃太郎」の劇の発表。主役の桃太郎、鬼たちはリ-ダ-、そして脇を固めるのはワイズメンズ、夜3回も練習を重ねた成果は盛んなアドリブ、とりわけ松本ウイメン、吉田メネットのとびいりは、大阪ウーマンパワー-が全開、大いに盛り上がりました。ジェンカを息を切らしながら踊り、「花は咲く」は東日本大震災の姿が走馬灯のように頭を駆け巡り、胸をあつくしながら歌いました。それから輪になってプレゼント交換をいたしました。

## 例会報告 つづき

今日一番のワイズへのプレゼントは辻野メンの復帰です。聖夜、祝会を当して生演奏して下さった「焼きやきトリオ」の皆様、有難うございました。今年も楽しいジョイフルクリスマスを祝うことが出来感謝いたします。

### 投稿 コーナー

< 植田元主事を囲む会 > 中井 信一

昨年12月1日に“植田元主事を囲む会“に出席致しました。主に1970年代にボランティアリーダーとして奈良YMCAで活動した21名が集いました。ワイズの濱田、内田さんと西口、増田さんが世話役としてお声掛けをして頂きました。植田元主事は、脳梗塞を数年前に発症され、右半身不随の状態ですが懸命にリハビリに努めておられます。リーダー時代に大変お世話に仲間が、外出する機会や、昔の仲間と話す機会が少なくなった植田さんを外に出てお話をさせて頂こうと言う企画でした。勿論、小生も趣旨に賛同し出席致しました。

小生にとって奈良YMCAのリーダーでの経験は、会社人生やワイズの活動をする大きな影響を与えて頂くものでした。大学生の頃にクラスの子供達から同じ目線で話す重要性を学びました。海外で20年程仕事をする機会が有りましたが、常に同じ目線で話す大切さを痛感致しました。子供達には感謝、感謝です。それを導いて頂いた当時の植田主事、奈良YMCAにも感謝しています。その思いを少しでもお返しができる様にワイズの仲間に入れて頂きました。今回の集いに参加した仲間も大なり小なり、奈良YMCAに感謝の気持ちを持っていると実感致しました。奈良Yやコースリーダーをサポートして行く仲間を今後も増やして行く積りです。

随分久しぶりに会った仲間や、美女・ビジョとのお酒はやはり一番美味しく少々飲み過ぎでした。反省(笑)。

## 事業について

### YMCAサービス・ユース

1月20日第3回奈良YMCAチャリティーラン実行委員会

### 交流

- ・DBC交流 御殿場クラブ、名古屋東海クラブ
- ・IBC交流 韓国慶州花郎クラブ、台湾台南クラブ

### ファンド

- ・BF切手募集 一人1,400円分の切手
- ・ファンドの啓蒙活動

### EMC

- ・会員増強の為の広報活動 ブリテンコラム記事掲載

### 地域奉仕

- ・CS,TOF,FF,RBM,東日本震災、フィリピン災害支援献金

### メネット事業

- ・1月11日(土)阪和部新年合同例会の受付をお手伝いします。
- ・1月18日(土)通所障がい者施設『あゆみ』へ餅つきの手伝いに行きます。10時30分にご集合下さい。

1月25日から日程変更になりました。



日時： 2013年12月16日19:00～21:00

場所： YMCAチャペル

議題

1. 阪和部新年合同例会 について

日時： 2014年1月11日 13:00～16:00

場所： たかつガーデン

2. 1月役員会 1月27日(月)YMCAチャペル19:00～

3. 2月例会 2月10日(月) PICAPICA 19:00～21:00

卓話 「笑って大往生するために」(仮題)

講師 日本尊厳死協会関西支部 竹内 賜正 様

司会:かせ谷メン

4. フィリピン被災地支援について。ジョイフルクリスマス

の献金はYMCAへ寄付し、当支援金はワイズ会計  
日本YMCA同盟へ20,000円寄付すること。

5. 新入会候補について

高井 亮吉氏 (奈良県大和高田市在住)2月入  
会式

5. DBC交流について 3月予定で計画中

6. プリテンコラム記事のお願い

Happy Birthday

9日 林 佑幸、14日 杉浦 英、21日 佐藤 千鶴子

31日 胎中 晴美

Wedding Anniversary

該当なし

新たな『馬年』を迎えました。  
YMCAも馬のように勇猛果敢にこの困難な時代を  
“駆け抜けて”行きたいと思います。今後もどんな障  
害も馬のように飛び越えていけるよう力を注いで参  
ります、今年度も変わらぬご支援ご協力の程よろしく  
お願いいたします。

【ジョイフルクリスマス報告と感謝！】  
去る12月8日(日)奈良ワイズメンズクラブ・YMCA  
共催『ジョイフルクリスマス』がYMCA体育館にて開  
催されました。当日は、約85名の方が集っていただ  
きました。今回の 部礼拝では、高木牧師(日本基  
督教団高の原教会)にクリスマスメッセージをいただ  
きイエス様のご降誕を祝し世界の平和、皆の平安な  
生活などを共に願い祈ることができました。 部祝  
会では、ワイズ・メネットの皆様がご準備いただいた  
料理・オードブル・ケーキなど豪華料理満載で多くの  
ユースリーダーをはじめ参加者から大好評でした。  
そして…今回で6年目を迎えました『劇団YMCA』に  
よる劇は、その内容もさることながらその劇“桃太  
郎”の脚本を手がけていただいたのが我が“待ち人”  
辻野メンの執筆によるものであったこと…なにより  
約1年ぶりにいつもと変わらない“辻野スマイル”で  
参加されたことでした。またジョイフルクリスマスとい  
えば“焼きトリオ”と呼ばれる程に定着しましたそのメ  
ンバーとしても復活されました。辻野メン！『お帰りな  
さい！…お待ちしておりました』…今回の劇もユース  
リーダー(青少年センター・らぼー)とワイズの素敵  
なコラボを実現することができました。またこれまた  
恒例?となった他クラブからのリピーターの方々を  
含め年々多くなっています。…いつか現在のYMCA  
体育館では収容できないくらいの規模に拡大できる  
よう微力ながらその働きを強めて参ります。ご協力し  
ていただきました皆様！そして会の運営をお支えい  
ただきましたワイズそしてメネットの皆様ありがとうご  
ざいました。  
尚、当日礼拝中に行いました“献金”(29,095円)  
は全て『国際協力募金・フィリピン台風30号支援募  
金』の一部として用いさせていただきます。

1月の行事予定

日/曜日	行事内容
4 土	和歌山紀の川クラブ
7 火	大阪サウスクラブ 例会
8 水	大阪長野クラブ 例会
9 木	大阪堺クラブ 例会
11 土	阪和部新年合同例会兼奈良クラブ例会
16 木	和歌山クラブ 例会
16 木	大阪河内クラブ 例会
23 木	大阪泉北クラブ 例会